

おおの議会だより

No.50
57.8.1



ワーイ夏休みだ!

待ってましたと元気にはしゃぐ子供たち

一般会計補正予算(1億7,353万円)など

13議案を可決・承認・同意

し尿処理施設改良に6,000万円……………

第198回定例会市議会は、6月21日招集され、会期を28日までの8日間と定め、理事者から提出の議案13件を慎重に審議しました。その結果、「昭和57年度一般会計補正予算」「国民健康保険税条例の一部を改正する条例」など全議案を原案どおり可決・承認・同意しました。また市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決め、最終日には議員提案による「地方議会議員選挙における選挙運動期間短縮に関する意見書」など3件を可決して28日閉会しました。

6月定例会審議日程

- 21日 本会議(会期の決定、議案上程、提案理由の説明)
- 23日 本会議(一般質問、各案件委員会付託)
- 24日 委員会(産業経済・建設)
- 25日 委員会(教育民生・総務)
- 28日 委員会(教育民生)
本会議(各委員長報告、質疑、討論、採決)

市政をきく

一般質問

北海道三石町との姉妹都市は 一機運になれば検討一

問 三石町と友好親善関係を結び民間サイドで交流してきたが、今後行政として友好関係を深め、姉妹都市縁組を進める考えはないか。

答 開基 100年を契機として三石町との関係が深まってきている。同町には当市出身者のほか兵庫県や岩手県などの入植者もあり、いろいろと町自体の事情もあるので、一層交流を深める中で、機運が高かまれば考えたい。

国鉄バス(荒島線)の友兼 経路について 一地元と協議し陳情したい一

問 現在大野市内から荒島行きで折り返えしている国鉄バスを、友兼線

経由で巡回する運行に切り替えてもらうように要望してはどうか。

答 第 3 種路線である友兼線は 6 月末日で京福バスの運行が中止されるので、地元と十分協議し、また京福側との話し合いをして国鉄バスに巡回してもらうよう陳情したい。

村部の不燃物収集で苦情 一業務滞るなら他業者に一

問 ごみ不燃物の収集が滞っているという苦情が多いと聞か、どう対処するのか。

答 市民に迷惑を掛けていることは承知している。業者に再三注意し、業務が滞ることがあれば解約出来るよう誓約書も取ってある。今後厳しく指導するが、それでも正常に営まれない場合は契約を打ち切り、他の業者に委託するか、市直営でやるか早急に方向を決めたい。

問 ごみ処理を民間に委託しているケースが多いが、当市はどう考えているか。

答 経済的な効果や住民サービスなどで議論の分かれるところである。十分検討し最善の方法で対処したい。

簡易浄化槽、市民の苦情多い 一監督官庁は保健所 タイアップして徹底調査必要一

問 最近市街地では簡易浄化槽を設置している家庭が多いが、設置基準が守られていないため、市民からの苦情が多いが、どう対処すべきか。

答 監督官庁は保健所であるが、設置は届け出制になっている。市も保健所とタイアップして、届け出があった場合現地調査も実施している。設置者自身ルールを守ることが一番重要である。ちなみに、56年10月末



現在で 1,749 軒の設置基数に対し、完了報告書の未提出が 350 軒もある。今後業者の指導や徹底した調査を期すべく、保健所とともに精いっぱい浄化に努めたい。

議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第三十六号	昭和五十七年度大野市一般会計補正予算(第一号)	原案可決
第三十七号	昭和五十七年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)	"
第三十八号	大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	"
第三十九号	辺地の総合整備計画について	"
第四十号	大字・字区域の変更について(下庄 東部土地改良)	"
第四十一号	大字・字区域の変更について(上庄 土地改良)	"
第四十二号	市営土地改良事業の実施について	"
第四十三号	県営土地改良事業費の負担について	"
第四十四号	上庄小学校統合校舎新築工事請負契約について	"
第四十五号	専決処分の承認を求めることについて(市税条例)	承認
第四十六号	専決処分の承認を求めることについて(国保税条例)	"
第四十七号	監査委員の選任について	同意
第四十八号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	"
市会案第三号	農業委員会委員の推薦について	原案可決
市会案第四号	地方議会議員選挙における選挙運動期間短縮に関する意見書	"
市会案第五号	農産物輸入自由化、梓拡大阻止に関する意見書	"
市会案第六号	第九次道路整備五カ年計画策定に関する決議	"
報告第一号	大野市土地開発公社の経営状況について	受理

国道 158号線福井・大野間4車線化

本年度 1億8,000万円
完成まで150年掛かるが？
—二次改築に努力、国直轄も—

問 国道 158号線の福井・大野間は当市の生命線とも言えるべき重要な道路であるが、その

工事は遅々として進行しておらない。市は今後どのように取り組む考えか。

答 57年度の予算は1億8,000万円であるが、前波地区(福井地籍)で

の用地交渉が遅れた関係上、予算のつき方も少ない。本年度前波トンネルの調査費が3億円計上されたので、今後とも国・県等に対し積極的に働き掛け、二次改築事業の促進に最大限の努力をしたい。国直轄事業としての改良についても、今後の課題として国に強く要望していきたい。



下流の農業用水のごみ公害

—市民1人ひとりのモラルが大切—

問 市内河川の下流ではごみが多く、それが田んぼに流れ込み困っていると聞かすが、どうか。ちなみに福井市では自動式ごみ取り機を設置して効果を挙げているらしい。

答 市の河川手や道路手が協力して河川のごみ処理に努力しているが、結局は市民1人ひとりのモラルの問題であると思う。市民の協力を積極的に呼び掛けたい。ごみ取り機の設定については、機能を発揮するものかどうか早急に調査したい。



河川をきれいに(社会奉仕作業)

農業委員会委員の推薦

農業委員会委員のうち、議会が学識経験者として推薦している委員が、6月30日をもって任期満了となるため、次の5氏を議会から推せんすることに決定した。

- ・田中新一郎氏(58才)美里町
- ・田中 生氏(70才)土 打
- ・奥村 忠光氏(62才)下 丁
- ・乾 高志氏(51才)西 勝原
- ・松田 銀蔵氏(56才)右近次郎

越前大野駅の貨物取扱い廃止

—存続は先き行き困難—

問 国鉄越前大野駅の貨物取扱いを今秋に廃止したいとの申し入れがあったが、その後の経過と見通しについて伺いたい。

答 国鉄側では荷主の了解を得るために奔走しており、大半の荷主の方は不承不承ながら、国鉄の現状から考えて廃止もやむを得ないとの返事が多いと聞く。最大荷主である農協は経済連との関係で結果はまだ出ていない。最近の臨調の部会報告でも、国鉄での貨物取扱いは昭和60年以後全廃するようになっており、存続の見通しは先き行き難しい。

越美北線のダイヤ改正

—現下のローカル線問題で金鉄局は消極的—

問 市は越美北線の利用促進運動を進めているが、市民から現在のダイヤでは利用しにくい。また回数も増

やして欲しいとの声もあるが。

答 ダイヤ改正については金沢鉄道管理局に再三要望しているが、今日の全国的なローカル線問題等から、消極的である。花堂～福井駅間のダイヤが過密という理由で、改正が困難との国鉄側の言い分である。今後とも県の交通対策課と連絡を密にし、秋のダイヤ改正までにぜひとも本市が希望している時間帯(大野駅発午前11時30分と福井駅発午後6時30分)を一本ずつ増やしてもらおうよう強く要望したい。

中学校間の学力格差

—基礎、基本に力を入れて—

問 各中学校では進路の選択・決定などで苦慮しているが、当市の4中学校の間には学力差が年々開きつつあると聞かすが、どうか。

答 中学校は社会生活を営んでいく基礎づくりの段階である。知・徳・体の三つのバランスの崩れがあってはならないと思う。当市の中学校のある部分における資料では、知的量は率直に言って上等であるとは言えない。この点校長会でも、力が出し切れるような雰囲気と学習意欲の向上に真剣に取り組んでいる。高校へ入って伸びるような基礎・基本の学力をつけることが、中学校教育の大事な進路指導の一面だと思っている。父兄の皆さんの心配を心に留めて、関係者と十分研究し格差の除去に努力したい。



**抜本的な利水計画案は
—具体的な樹立案なし—**

問 建設省と真名川土地改良区連合とのかんがい用水の更改が3月末に行われたが、その結果について聞きたい。また生活用水、農業用水などの総合的な利水計画はその後どうなっているか。

答 許可は10月ごろになると思うが、今まで権利を有していた水量には変化がないと理解している。



利水計画については赤根川や清滝川の水量の利用、土地改良区連合の水利などいろいろと問題があり、現在のところ具体的な利水計画は持っていない。今後国・県・市三者間で十分協議し、住みよいまちづくりのため検討したい。

問 赤根川流域の一部集落で水不足を来たし、田んぼが枯渇したと聞くが、どうか。県では赤根川上流にダムを建設する必要があると示唆しているが、市はどう対処するのか。

答 赤根川流域の水不足問題については、56年度から3ヶ年計画で県営事業として水利調査をしている。しかし県営事業では事業費の枠が小さ

く、県耕地事務所と協議し国の特別調査費をもらうよう検討している。一部集落の水不足は県営事業でポンプを打ち込むことで手配してある。



県がダム建設を示唆している赤根川上流(阿難祖領家)

**保育所保育料
低所得者に負担大では
—料金改定の際十分配慮—**

問 低額所得者層に対する保育料金が、国の基準より高いが改善しないのか。

答 ことは料金改定の際、高額所得者層に比べてアップ率を低くし、昨年の倍額の一般財源を持ち出した。国の基準では措置費の56%（昨年は50%）が保護者負担の割合で、年々高くなってきているが、財政状況を見て考えていきたい。しかし応分の負担はある程度やむを得ないと思う。



林間保育(奥越青少年の森)

**監査委員(議会選出)の
選任に同意**

山本 武議員(69才)
(大野市美川町)

**固定資産評価審査委員会
委員の選任に同意**

山田 行雄氏(60才)
(大野市元町)

**越前大野駅の自転車置場
—用地のメド立たず難航—**

問 再三要望している大野駅前の自転車置場は、いつ設置するのか。

答 用地は国鉄にも要望したが、中竜の洗車場や日通倉庫の移転問題が難しい。現在は私有地の借り上げ交渉を続けているが、難航しておりメドが立っていない。一日も早く設置できるよう努力したい。

**農業所得標準表の見直し
—適確な格付け検討—**

問 農業所得算出の基礎となる産米水稲標準は、国税局と名関係者協議して1等級(反当たり102,400円)から7等級(44,000円)までの段階になっているが、これを見直すべき時期にきているのではないかと。

答 毎年見直しが行われている。国税局において、北陸管内の各税務署が1~7等級で格付けするという申し合わせになっている。等級を多くすれば適確な格付けができると思うが、ご要望の趣旨については農業所得標準協議会の席上申し述べたい。

**意見書・決議書を可決
政府関係機関へ提出**

定例会最終日の6月28日に下記の意見書2件と決議書1件が上程され、慎重審議の結果それぞれ可決されたので、直ちに政府はじめ関係機関に提出し、早期実現を要請しました。(本文略)

- ・地方議会議員選挙における選挙運動期間短縮に関する意見書
- ・農産物輸入自由化・枠拡大阻止に関する意見書
- ・第九次道路整備5ヶ年計画策定に関する決議

入札制度のあり方

一指名業者増は実施中
結果公表は早期実施

問 市は以前に入札について制度を変更する意思はないとのことであったが、今になって入札の結果公表を決めたのはなぜか。

答 中央建設審議会から指名業者増と結果公表が好ましいとの通達があったので、実施することを決めた。指名業者増は現在実施中であるが、公表については工事金額をどの程度にするかまだ決めていない。早急に決定して公表に踏み切りたい。



入札結果の公表
(庁舎内で七月十五日から実施)

道路舗装の地元負担廃止は

一順次廃止の方向で努力

問 道路舗装の地元負担を一挙に廃止する考えはないか。

答 年々軽減に努力しているが、一挙に廃止することは難しい。十分検討して廃止の方向で努力したい。



水田利用再編対策

転作割当面積県下最高
一軽減に努力したい

問 転作割当が極めて多い。農家は行政に不信感を抱き、生産意欲もなくすのではないか。良質米の産地だから割当を軽減できないか。

答 割当面積がこれ以上増えるとは考えていない。軽減については、農業関係団体と協議し精いっぱい努力したい。

景気浮場対策に 公共事業の前倒し発注を 一國の方針に沿い努力中

問 3月議会で、公共事業の前倒し発注をして景気浮場を図っていきたいと方針を述べられたが、現在の発注状況はどうか。財政的要因で発注が遅れているとも聞くが。

答 財政事情の厳しい中で景気浮場を図るため、積極的な予算編成を行った。早期発注には鋭意努力中であるが、今後とも国の目標に達するよう、さらに各関係課を督励して早期発注に努力したい。なお、土木課関係の発注率は約40%である。

問 9月議会で市単独事業費を盛る考えはないか。

答 国も地方自治体も前倒し発注をした後、息切れをすとも言われているので、財政見通しを十分立てて前向きな姿勢で臨む決意である。

市民総参加の城まつりを 一マンネリ化傾向にある 新しいアイデアで

問 3月議会で市長は市民総参加の城まつりにし、将来は高山市のような

まつりにしたいと述べたが、現在民間サイドで運用されているのを行政サイドで取り組む必要があるのではないか。また予算的配慮はどうか。

答 城まつりは定着してきてはいるが、マンネリ化の傾向にあるとの声は承知している。会議所に委託している点については、商店街の連合会の意向もあり、市で実施することは難しい面が多い。今後ともアイデアを採り入れて立派なまつりができるように努めたい。

予算については不足な面があれば考慮したいが、金の面だけではなくいろいろな方法を考えて、城まつりを盛んにしていきたい。

永年勤続議員

北信越市議会議長会 } で表彰
全国市議会議長会 }

去る4月23日金沢市で開催された第57回北信越市議会議長会定期総会、ならびに5月27日東京で開催された第58回全国市議会議長会定期総会の席上、市政の振興に努めた功績により次の各議員が表彰されました。

- (在職30年以上) 山本 武
- (在職15年以上) 角本 守
- (") 米村 喜六
- (") 平間 源治

委員会報告

—各委員長報告から—

●産業経済委員会

①水田利用再編対策について

第2期転作配分率は18.3%と、県下平均15.3%を大きく上回っており農家にとって深刻な問題となっている。しかし食糧管理制度の根幹を守るため、厳しい状況下で割り当て面積の消化に努力している。だが、このような配分率が今後も持続されると、農家の生産意欲が減退し、農政に対する不信を招くことになるので、第3期配分に当たっては関係団体等とも十分協議して、国・県に対し当市の地域性を強く主張し、良質米の供給基地としての形成に努めるよう、県下公平配分に努力されたい。

●教育民生委員会

①上庄小学校統合校舎新築工事請負契約について

本案を審議する中で各委員から、今回執行の入札に際して、指名業者の資格基準が果たして適正であったか、どうか、また入札経過においていろいろな問題がなかったかなどについて質疑が集中した。この点理事者の説明では、「指名選定委員会（助役を委員長とし各関係課長8名で構成）では全業者とも施行能力があると判断して指名業者を選定した。また入札は厳正に対処した」とのことである。本委員会としては全国的にも入札問題が物議を醸している現在、今回の入札指名の明瞭さが市民の疑惑を招いたことは誠に遺憾である。今後細心の注意を払うとともに、従来情性的に行わ



れてきた業者からの指名願いを毎年提出させるよう厳しい姿勢で臨み、厳正、かつ公平を期する上からも、入札基準、資格審査等制度の改善や入札結果の公表などについては、早急に取り組むよう強く要望する。

学校施設という趣旨を十分認識し本工事の施行に当たっては、後に禍根を残すことのないよう、工期内完成と工事の管理、監督には万全を期されたい。

●建設委員会

①終末処理場用地の確保について

本件については再三にわたって本会議や委員会でも、当市の最重要課題としてその促進方を強く要望してきた。しかし用地確保は少しも進展しておらず誠に残念である。下水道事業の重要性は汚水を処理するばかりでなく、現下の市街地における簡易水洗便所の普及による地下水の汚染はもとより、伝染病の予防に役立つなど、近代生活に欠かすことのできない都市施設である。市は総力を結集して地元を初め、個々の地主の理解と協力を得るべく、積極的な働き掛けを行い、用地確保に最大限の努力をされたい。



●総務委員会

①企画担当機構の充実について

当市の基幹産業である繊維業ならびに農業は、発展途上国の産業経済の追い上げや、国際間の経済競争の激化などを背景に厳しい不況に陥り、苦境に立たされている。こうした現状を打開し、不況を克服のため、行政としての対応が強く迫られている。地域の経済基盤を確立するためには、当市の特性と実情に合った独自性を発揮する施策が必要である。そのため独立した政策機能を有する企画担当機構の充実強化が急務であり、機動的な調査、活動が迅速に行える適



正な人員配置を行い、的確な情報収集と、時代の変化に対応しながら当市の立地条件や自然条件を十分活用した開発整備の推進が肝要である。また市政推進上、市職員の提案制度を十分活用し、良いアイデアの選択に努めるとともに、その成果の処遇も考慮し、職員の意欲向上、能力開発を図ることも重要である。

なお、自衛隊駐屯地および演習地の誘致が、1ヵ年を経過した今日なんらの取り組みも行われていないので、全力を挙げて取り組み、活力あるまちづくりに努めるよう強く要望する。

請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願3号	農産物輸入自由化、梓広大阻止に関する要請について	大野市農業協同組合 組合長 大葎原 登外1名	採 択
請願4号	農村住民センター(仮称)の早期建設について	富田地区区長会長 伊藤 四郎 外6名	採 択
陳情5号	市道及び水路の改修について	木ノ本原土地改良区 理事長 松井 輝治外2名	採 択
陳情6号	地場産業開発センターの建設について	大野鉄工金属協同組合 理事長 長谷部 清	継続審査
陳情7号	婦人差別撤廃条約の早期完全批准を求める意見書の提出について	大野地区労働組合協議会 会長 宮腰 正栄外1名	採 択
陳情4号	市道編入について	柿ヶ島区長 山村喜一郎 外2名	継続審査